

442

七月廿日(木)

棚外労役を繞り、議論尚ほ沸騰してゐる。なかの
題は、先に"否"と登録法者が一致に労役を拒
絶すれば解決する。マコイ収容所では、ジュネーヴ
條項を楯として、強制労役の不干渉を交渉に
結果、何等感情的の阻礙なく、これを打ち切つて
了つてゐる。

尚ほ石塚君の話によると、ワイスコンソンのマコイ兵營
に最近到着したハワイ島の日軍兵は統計一千四
百名に達して居り、其の中二名が通年或は文書の
検閲に當つて居つてゐる。併かも日軍兵の全部は
収容の日中、人々には新然物と言はず、敬遠
してゐる。僅に一名だけ親しい情を以て接し、
其れも公然には出来ないのである。

木村君の主張に基き、子息を兵に持つ親連は
卷つて其家族に復歸同徳すべき運動を起し、あつ
たへて請願すべきものにして其の請願書と作製し、署名
の上提出する事になった。又一般interned 諸君
も亦一方の家族全權を申請する運動に着手す
るは、之れが考慮中だと傳へらる。政府に對し、外
部からの促進にて好まじき事だと思ふ。

七月三十一日(金)

午の暑氣猛烈と加へ、健康に頗る悪い。現状
の生活には種々の不協からゐるが、戦時中の混亂

443

29/10

だと思つて、敢て取り立てはしないが、斯の酷熱に
 対し何んとか人為的の緩和手段を施すべきだらう。

Autumnの季節を考慮するのから人道を振り翳す
 米の政府の政策を正々正義精神だらう。この
 暑さのみは大憤慨をしても宜い。

茲あるは予飯次郎には、この外殆んど何れもない。
 最近のうちに、Lorenzo Marquesに引着いた米の人
 記者達の通信が掲載されてゐる。大伴の車に於
 ける米人internesに対する待遇の要口である。

中におろか注目と惹く一事は、米空軍の車庫空襲により
 六百名の死傷を生じ、此の空襲上空の敵機は一
 羽に射し、車庫首相は直に参りお能を言上す
 と共に、空軍最高部に於て二名は自殺した。又
 首相に射しhammerを投げつけ、負傷せしめた。
 車庫は全く敵の空襲襲に防空不十分である。事実上
 是を地下避難に代へるに民は全部消滅
 した事すべきと恐ろしい云々等々である。

坂巻少尉は時計と所持せし且ガードも持
 ち合はせし。結果、食料タイムは想像でまかせるため
 非常に遅れ、食糧人員は全少尉のため色々と
 仕事の上に困る事がある。食糧も少尉と共に迷
 惑にかへむと悩ましく、依つておろかうで
 金をまいた。dollar watchを求め贈せしやと
 抗議した。幸ひ篠目君が不用の壊件時計
 個を有するので、直に金庫から贈りしと云ふ

交換
 地着
 米人
 通信

444

344

少尉は之を受理した。

昨日、ハワイ出身の日英戦士征士である、島僧侶が捕虜物語の演題で、自分が捕虜になった経験、族をやり、身いふと不可抗力によって敵手に捕らるゝが利便；先此殊勲者として表彰を受け、慰も旭日章を賜はつたと言ふ。全僧侶の講演に依り、當時約六百名位の日軍捕虜がロイヤル地に収容されてゐたが、何れも日軍政府により頗る恩恵に処せられ取扱はれしと述べた。當時、兵隊一族の柴田二等連兵士は和泉丸撃沈の際、日軍捕虜になり、溝に少佐等と共に送られたのであつたが、全氏ゆゑの話を想起し、右僧侶の物語は、印象的で又観察も粗漏で、僕の記憶の方が、どうやう物語としては更にロマンチックだと自惚れてゐる。然し、全僧侶の実話を聴いて、坂巻少尉に対する不安が無くなつた。彼青年士官は蓋し、兵隊校卒業後、遠洋航海を経て、任官前も、出征するのやが、日軍が実戦に始めて雄飛を發揮するに到つた潜航艇乗組として奮戦し、半死の間に、而も目的を達し、物語の途に於ける不運に接したのだから、殊勲中の殊勲と言ふ度い。一般の民は言ふまでもないが、この Internes は、彼に對し、最上の敬意と深甚なる同情を表すべきである。たゞ坂巻少尉は彼に對して口を開かず、米の口、入との接渉と

445

融けてゐるから、今の処からの意志と直
接表出する機会が、この直感といふ。

八月一日(土)

戦争突発以来、茲に既に半歳は過ぎ、遂に
八月を越へるに至つた。因はれて外界と接觸と断
たれてゐる現状に在つて、誰れもか漸く緊張を欠く
か如き觀を呈するに至つたのは遺憾ではあるが、また
環境の刺激が少い為のでもらる。無為後食は
吾人をして益々、不快の情性に駆らしめ、漸に
慄いませしめはせらん。

八月五日(水)

茲おる来、午前中は微風であつて、いさゝか暑熱に
堪え得るものから、夕食後の暑氣は怖ろしい。
約一週間の便秘だ。同じ光から sponge を使
ひ受け、灌腸をしても、脱肛するにつけて、便の効果
なく不快此の上もなし。

豫報の如く、本日は、スペインを領する (new Orleans)
~~ハルビン~~ (本) 及び口 裕有書記官ヤンが両氏
来る。同胞側から約二十名の代表者達と
会見した。要するに大山鳴鶴にて鼠一匹
に過ぎない。代表者達の不平斐々、交渉の
結果は外からいふやうな、豫の同胞側の
準備が足りないのである。会見

(ス
ペ
イ
ン
領
土
の
訪
問)